

肝炎ウイルス検査啓発キャンペーンについて（案）

平成 27 年 3 月 9 日
広島県健康福祉局薬務課

1 背景

B 型・C 型肝炎ウイルス持続感染者（以下「キャリア」という。）は自覚症状がないことが多く、本人が気付かないうちに慢性肝炎から肝硬変・肝がんに進行することが問題となっている。

平成 23 年度に厚生労働省が実施した「肝炎検査受検状況実態把握事業」の調査結果によると、手術前に実施される肝炎ウイルス検査等本人が受検したことを認識せずに受けた検査を含めても、肝炎ウイルス検査の受検率は約 50%に留まっており、肝炎ウイルス検査の受検促進が必要となっている。

2 事業の目的

7 月 28 日の日本肝炎デーに併せて啓発キャンペーンを開催することで、肝炎ウイルス検査の受検を促進し、早期発見・早期治療の必要性、肝炎に関する正しい知識の普及啓発を図ることを目的とする。

3 事業の概要

（1）実施場所

保健所設置市以外にある大型ショッピングセンター

（2）実施日

日本肝炎デーの直前の土曜日または日曜日に実施する。

（3）実施内容

① 啓発活動

ポケットティッシュ及びチラシ等の啓発資材を配布する。

② 無料肝炎ウイルス検査の実施

無料肝炎ウイルス検査の実施により、受検機会の拡大を図る。

受検予定者数：200人

4 事業費

1,450 千円

5 事業の効果

肝炎ウイルス検査の受検促進を図ることにより、早期発見・早期治療による肝硬変・肝がんの進行を予防し、医療費の軽減につながる。